

筑波大学の第1期中期目標・中期計画に対する評価結果について

国立大学法人評価委員会から、第1期中期目標・中期計画期間（平成16～21年度の6年間）における教育研究・業務運営等の実績に対する評価結果の通知がありました。

第1期中期目標・中期計画に対する評価は、平成16～19年度の4年間の実績を基に、暫定評価として平成20年度にすでに実施されています。

今回の評価は、暫定評価の結果を踏まえ、残り2年間（平成20、21年度）の実績を反映させて、最終的に第1期中期目標・中期計画に対する評価結果を確定することを目的として実施されたものです。

本学では、以下のとおりすべての項目で中期目標の達成状況が「良好」又は「おおむね良好」であるとの評定を受けています。

1. 評価結果の概要

項目	評定
教育研究等の質の向上の状況	
教育に関する目標	中期目標の達成状況がおおむね良好である
研究に関する目標	中期目標の達成状況がおおむね良好である
その他の目標（社会連携・国際交流等）	中期目標の達成状況が良好である
業務運営・財務内容等の状況	
業務運営の改善に関する目標	中期目標の達成状況が良好である
財務内容の改善に関する目標	中期目標の達成状況が良好である
評価・情報提供に関する目標	中期目標の達成状況が良好である
その他の目標（施設整備・安全管理等）	中期目標の達成状況が良好である

* 評価結果は次の5段階の評定により示される。

中期目標の達成状況が非常に優れている

中期目標の達成状況が良好である

中期目標の達成状況がおおむね良好である

中期目標の達成状況が不十分である

中期目標の達成のためには重大な改善事項がある

2. 高く評価された主な取組

〔教育・学生支援〕

- ・ 学士課程教育の目標とその達成方法を体系化した「筑波スタンダード」の設定・公表
- ・ 筑波研究学園都市等の機関との連携大学院方式による教育研究体制の充実
- ・ 心身に障害のある学生の学習環境の改善とサポート人材の育成

〔研究〕

- ・ 計算機科学と科学諸分野の融合による物理学等の先進的な成果の創出
- ・ サイborg型ロボット(HAL)開発を基点にサイバニクス領域の先進的な成果の創出

〔社会連携・国際交流〕

- ・ 全国トップクラスの数の大学発ベンチャーの創出
- ・ JICAや世界銀行など国際機関との連携による多面的な連携事業の実施

〔附属病院・附属学校〕

- ・ 「水戸地域医療教育センター」設置による県北地域医療への後方支援の実施
- ・ 大学と附属学校教員の連携によるプロジェクト研究の実施

〔業務運営〕

- ・ 学長のリーダーシップに基づく戦略的な資源配分の実施
- ・ 女性教員が働きやすい環境整備による数・比率の増加

〔財務内容〕

- ・ 外部資金の獲得強化による獲得額・外部資金比率の増加
- ・ 全学的な契約形態の見直し等による経費節減方策の継続実施

〔評価・情報提供〕

- ・ 年度重点施策方式や研究者情報システム等の活用による評価作業の効率化

3. 第2期における取組

以上のとおり、第1期中期目標はすべて達成することができました。平成22年度から始まった第2期においては、第1期のこれら取組の成果を活かしながら、筑波大学の特色をより明確にするため、次の5点を柱に教育研究の質の向上に取り組んでいます。

- ・ 国際的に卓越した研究の実現
- ・ 自立して国際的に活躍できる人材の育成
- ・ 筑波研究学園都市の中核として積極的な連携の推進
- ・ 国際的な信頼性と発進力を有する大学の実現
- ・ 教職員の協働による大学改革の先導